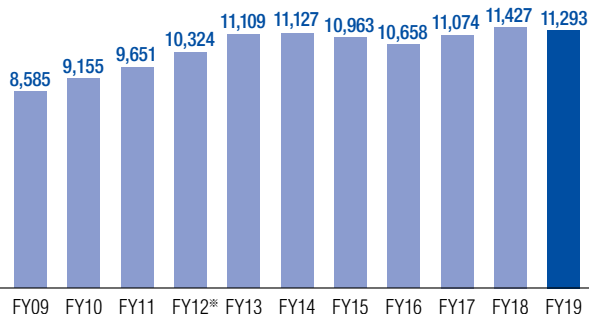


財務ハイライト

売上高

(億円)

2019年度
11,293億円

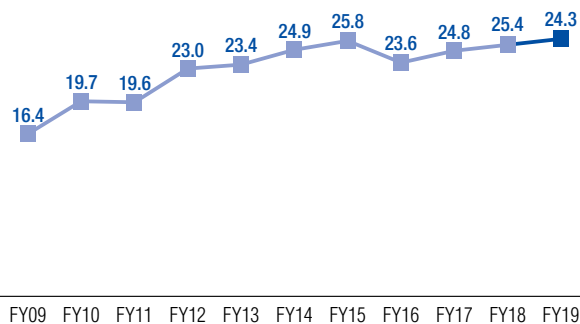


※2012年度に実施した海外子会社の決算期変更による影響を含む

海外売上高比率

(%)

2019年度
24.3%

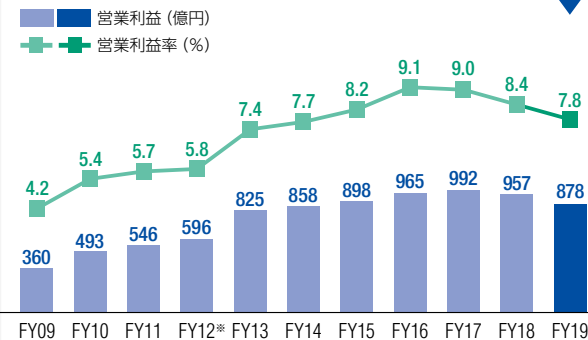


営業利益・営業利益率

2019年度 営業利益

878億円

2019年度 営業利益率

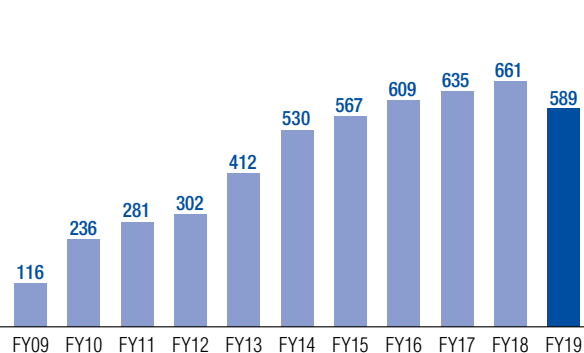
7.8%

※2012年度に実施した海外子会社の決算期変更による影響を含む

親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)

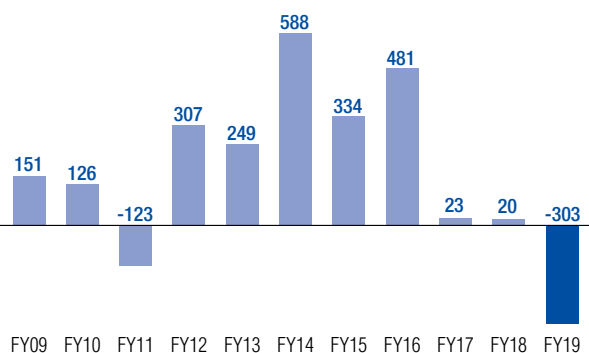
2019年度
589億円



フリーキャッシュ・フロー

(億円)

2019年度
-303億円

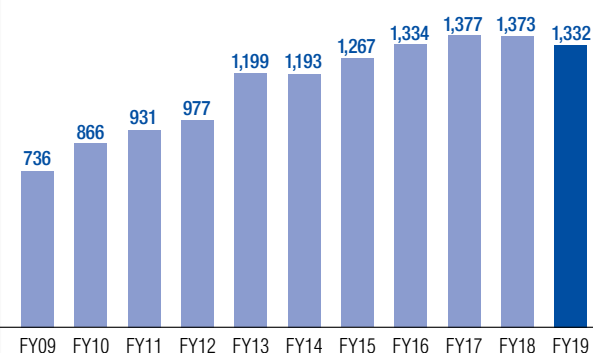


フリーキャッシュ・フロー=営業活動CF+投資活動CF-配当支払

EBITDA

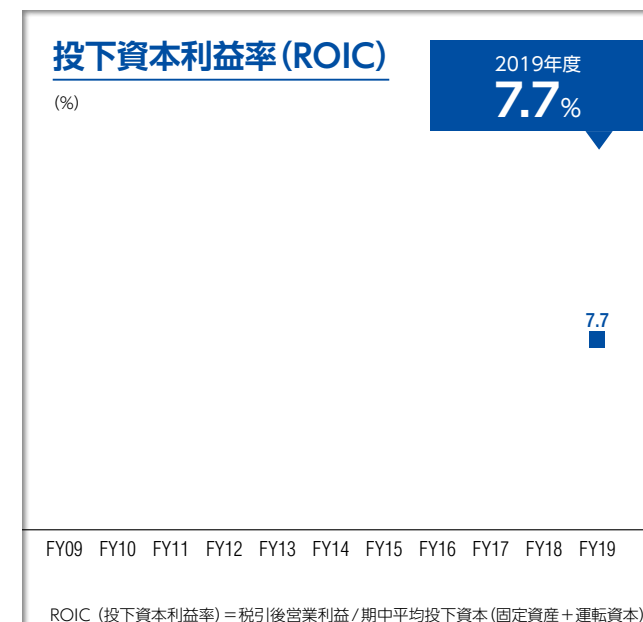
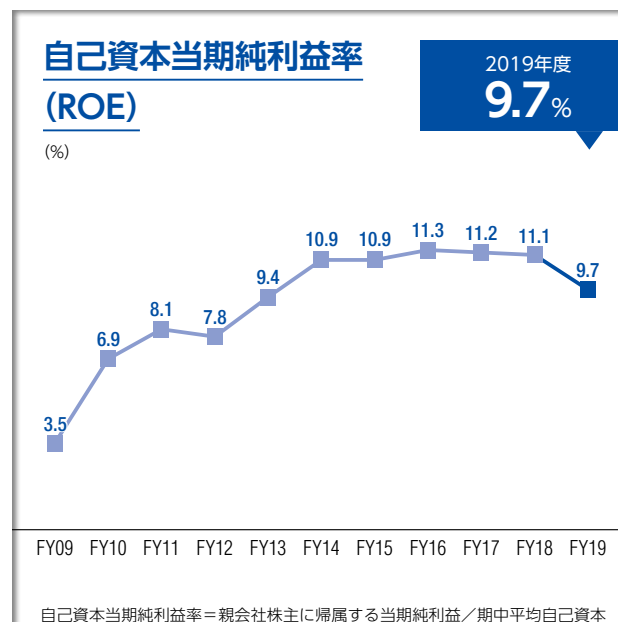
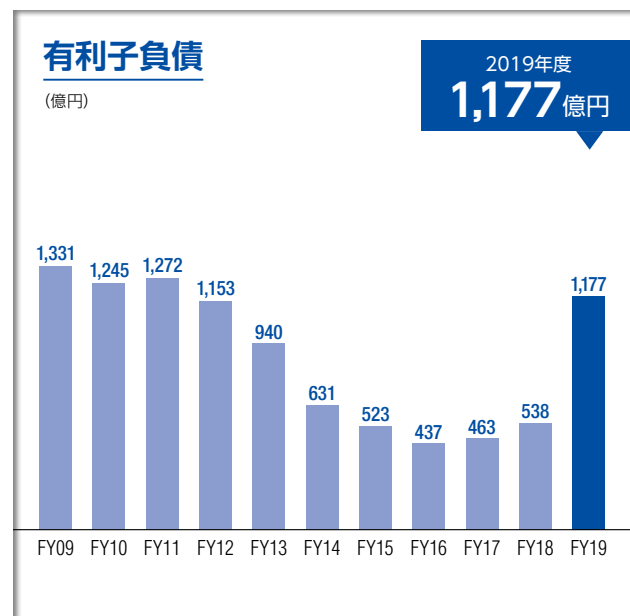
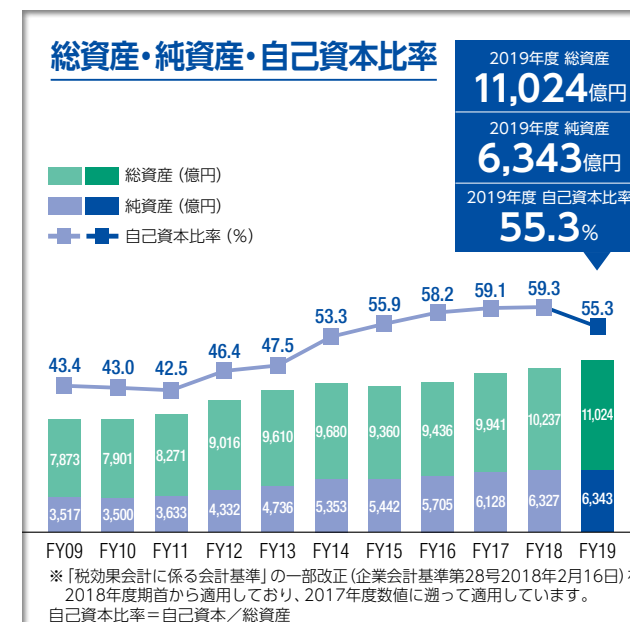
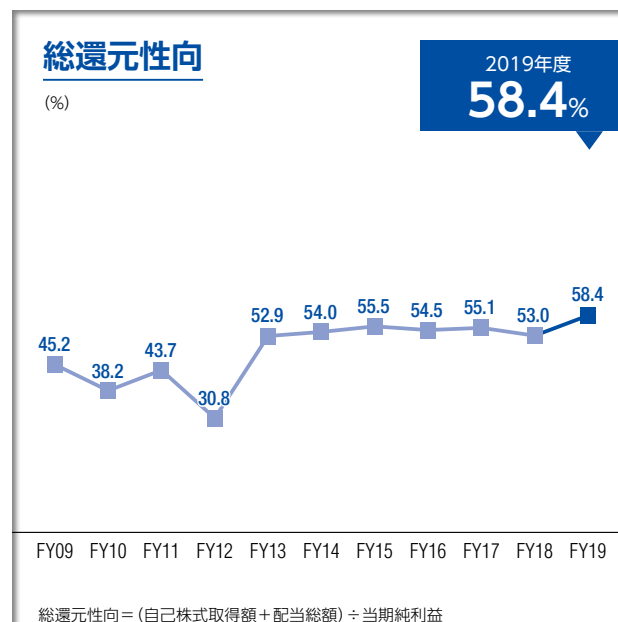
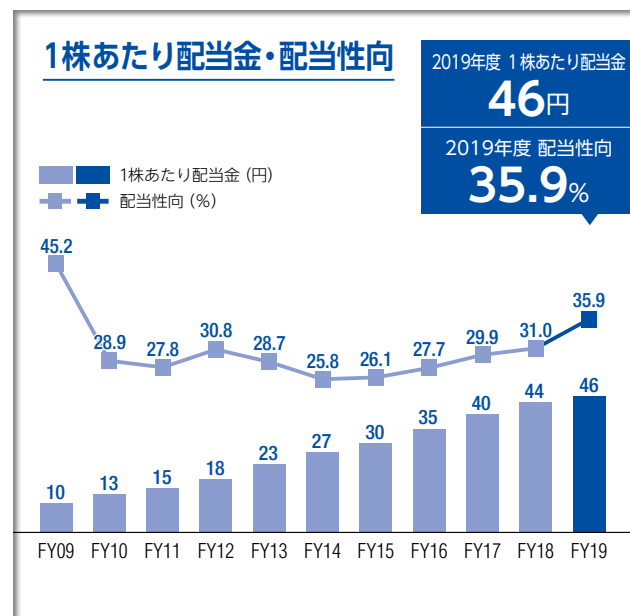
(億円)

2019年度
1,332億円



EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

財務ハイライト

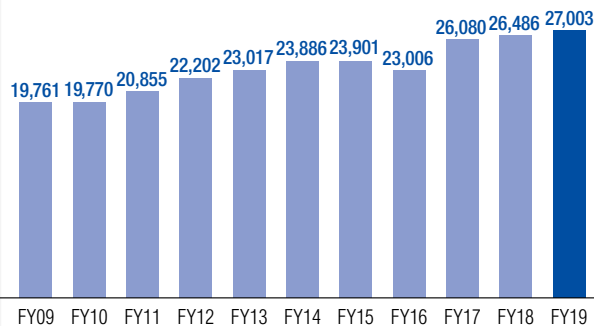


非財務ハイライト

従業員数

(人)

2019年度
27,003人

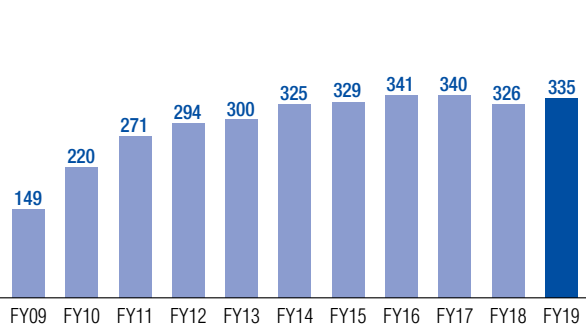


グローバル人材

(人)

2019年度
335人

■ グローバル人材 (人)

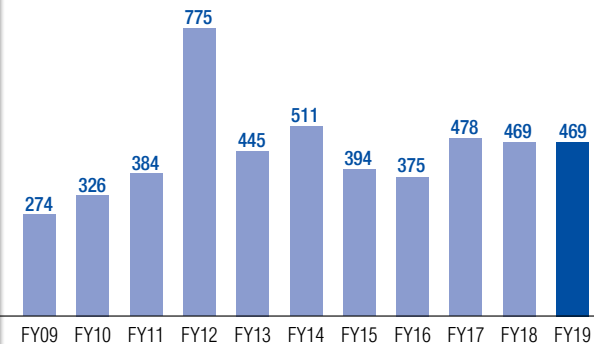


グローバル人材: 日本人従業員の海外赴任経験者(グローバルトレーニーを含む)。

損失コスト

(百万円)

2019年度
469百万円

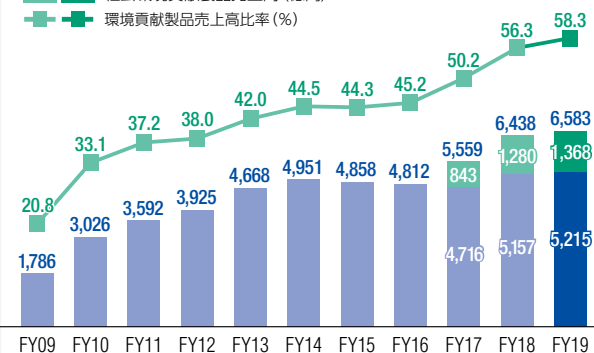


損失コスト: 国内生産事業所・研究所、コーポレート各部署、カンパニー間接部署の労働災害、設備災害、通勤災害、疾病長欠関連費用

環境貢献製品売上高

2019年度
6,583億円

■ 自然環境貢献製品売上高 (億円)
■ 社会環境貢献製品売上高 (億円)
■ 環境貢献製品売上高比率 (%)

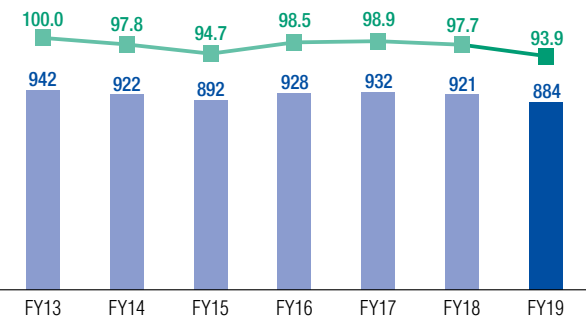


環境貢献製品: 社内認定制度によって、高いレベルの環境貢献効果を有し、かつ、お客様の使用段階において、その効果を発揮することを認められた製品。2017年度より、自然環境に加え、社会環境も対象とし、貢献対象範囲を拡張しています。

事業活動による温室効果ガス(GHG)排出量の推移

2019年度
884千トン-CO₂

■ 温室効果ガス(GHG) 排出量(千トン-CO₂)
■ GHG排出量比*

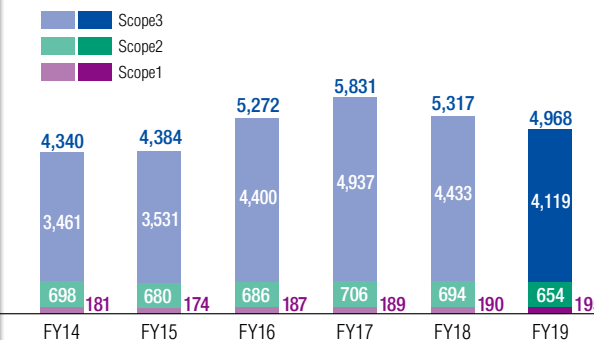


(注) 精度向上のため過去に遡り数値を見直しています。
※ 2013年度を100としています。

サプライチェーン全体での温室効果ガス(GHG)排出量

2019年度
4,968千トン-CO₂

(Scope1, Scope2, Scope3別で表示)
(千トン-CO₂)



(注) 2016年度以降のSCOPE3に関しては、輸送エネルギーの精度向上と購入した製品・サービスの集計範囲を拡大した結果、把握している排出量が前年度より大きく増加しています。2018年度からは、ZEH仕様の住宅において、使用エネルギーが削減される効果を算入したことにより、“販売した製品の使用”に関わる排出量が減少しました。